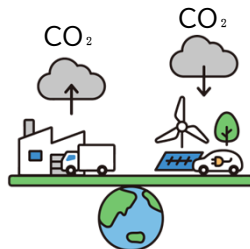


いばらきカーボンニュートラル 産業拠点創出プロジェクト

○カーボンニュートラルとは

二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること(温室効果ガスの排出量から植林・森林管理などによる吸収量を差し引いた合計をゼロにすること)を意味します。

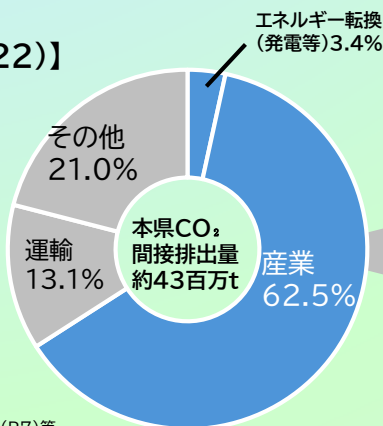
2020年10月、政府は2050年までにわが国においてカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言しました。



【茨城県のCO₂排出量の特徴】

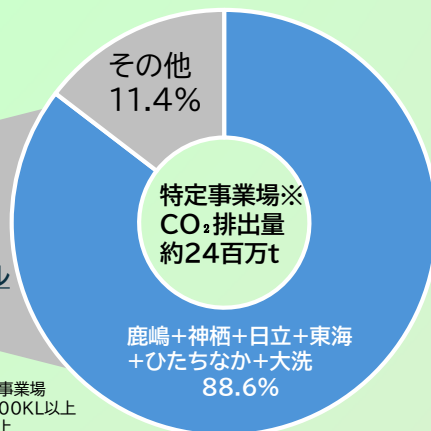
産業分野からのCO₂排出量が全体の60%以上を占めています(全国では40%程度)
その中でもCO₂排出を多く排出する事業場が臨海部に集中しています。

【茨城県(2022)】



出典:茨城県環境白書(R7)等

全体の約60%
=新エネルギー
(水素・アンモニア等)で
代替できるポテンシャル



※特定事業場:次のいずれかに該当する事業場
前年度化石燃料使用量が原油換算1,500KL以上
前年度の電気使用量が600万Kwh以上

そこで、茨城県は、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組として、2021年5月に「いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出プロジェクト」を立ち上げました。

太陽光などのクリーン電力や、水素・アンモニアなどのクリーンエネルギーのサプライチェーンをいち早く構築することで、温室効果ガス排出量の大幅な削減を図るとともに、本県を支える産業の競争力向上や新産業の創出を実現することを目指しています。

▼ 取組の三本柱 ▼

- ①機運醸成 県民の意識向上、立地企業との連携関係強化 など
- ②体制構築 産学官の連携基盤の構築、コミュニケーションの強化 など
- ③支援充実 プロジェクト実現に繋がる取組への一気通貫した支援の提供 など

詳細は次ページ・茨城県公式HPをご覧ください ▶



～茨城県における個別の取組紹介～

カーボンニュートラル産業拠点創出に向けて基金や補助金を設置しています

■カーボンニュートラル産業拠点創出推進基金(200億円)

■いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出に向けた実行可能性調査補助金

臨海部にCO2を排出する産業が集積している本県においては、エネルギー構造の転換を図るため、大規模な投資を呼び込み、カーボンニュートラルと経済成長を共に実現していくことが重要です。

このため、茨城県では、全国に類を見ない200億円の基金の設置や水素やアンモニアなど新エネルギーの導入およびそのサプライチェーン構築または県内の低炭素化・脱炭素化を促進する実行可能性調査(フィジビリティスタディ)を行う企業を支援するため、その費用の援助を行っています。



立地企業等との連携関係を強化しています

茨城県は、鹿島臨海工業地帯の主要立地企業である三菱ケミカル(株)と、カーボンニュートラル産業拠点の創出に向けた戦略的パートナーシップ協定を締結しました。

工業地帯における循環型コンビナートの形成や茨城臨海部を拠点としたカーボンニュートラル産業拠点の創出に向け、連携・協力を図ることにより、地域経済の持続的な発展と、わが国における循環型社会及びカーボンニュートラルの実現を目指しています。



クリーンエネルギー拠点の形成を目指しています

石炭火力発電所等でのアンモニア利用や鹿島臨海工業地帯での水素利用を実現するため、茨城港・鹿島港という重要港湾を活かし、水素・アンモニアのクリーンエネルギー拠点の形成を目指しています。



カーボンニュートラルポートについて

茨城県は、2023年3月に全国初となる港湾脱炭素化推進計画を策定しました。

鹿島港、茨城港では、次世代エネルギーである水素、アンモニア等の大量・安定・安価な輸入・貯蔵等を可能とする受け入れ環境の検討をはじめ、様々な取組を展開しています。



<問合せ先>

プロジェクト全体に関する問合せ	: 地域振興課	029-301-2730
アンモニアプロジェクトに関する問合せ	: 科学技術振興課	029-301-2499
カーボンニュートラルポートに関する問合せ	: 港 湾 課	029-301-4526



茨城県